

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

利用者はリビングルームで思い思いのスタイルでつろいでいる。「おはよう」と今お目覚めでゆっくり朝食をしている利用者、よその病院受診から帰った利用者、「アー疲れた。ここが一番いい」と言う。「病院で「帰ろうね」と促すと「帰らん、嫌だ」と言うので「はなみずきに帰るんよ」の言葉に安心して「帰る」と言ってくれたんです」と家族が教えてくれた。「前に一人で住んでいた家に帰るのかとびっくりしたんでしょね」と笑いながら説明する家族は安心して本人をこのグループホームで生活させている。家族の人が帰る時、笑顔で見送っていた。利用者職員全員が一つの家族となることが利用者にとって第2の自分の家になっている。職員はこうしなければならないという気負いもなく、利用者一人ひとりの様子を見ながら、必要な時、必要な事だけをさりげなく支援している。全てが自然体で無理がない。それが利用者の心の安定につながり、穏やかに暮らしていけるこのグループホームの秘訣だと思う。

少人数のグループホームであるだけに、職員と利用者の関係が密で、職員の利用者に対する思いは家族に近い。症状が進みホームで対応出来なくなり、関連施設に移って行く利用者に対しては、いつもとても辛い、「出来る限り長く一緒にいたいと思う」と話す職員の言葉に胸を打たれた。私も利用したいと思えるグループホームである。

特に改善の余地があると思われる点 次のような提案をした

職員と利用者の関係が密な分、何かの事情で職員の誰かが欠けたときが心配である。関連機関からの応援はあるとは言ものの、利用者にとっては馴染みの職員での支援を受けることが何より安心であると思う。職員の元気で良いサービスを継続してもらいたいと思う。認知症の知識とケアの経験、そして質の高いサービスの実体を関連施設だけでなく、多くのグループホームに広げる担い手としての役割を持ってもらえることを期待する。認知症の介護を持って余している一般人にも正しい知識を普及していただくことをこの法人にも期待したい。

事業所名 グループホーム はなみずき

日付 平成18年1月24日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 老人保健施設介護実務経験5年、居宅支援
事業所介護支援専門員経験5年

評価調査員 ケアセンター介護支援専門員経験4年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か 「安心、安全、尊厳、生きがい、潤い、心地良さ」といった理念は職員の間では浸透しており、口先の言葉だけでなく、利用者一人ひとりに常にこの気持ちで接していきたいという態度がひしひしと伝わってくる。 利用者一人ひとりをまるで家族のような気持ちで受け入れている職員の様子から、6人という小規模の良さを痛感した。		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 利用者の殆どは食堂のテーブルを囲んで過ごしている。最初は職員が利用者全員の様子を把握する為にそうしているのかと思ったが、利用者がここが一番楽しく集まっていることが、グループホームで過ごしているうちに理解できた。利用者同志は皆と一緒にいることで安心し、自分の居場所も確保でき、穏やかに生活が出来ている。利用者だけでなく職員も含め一つの家族が出来上がっているように思われた。		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 常に利用者が安心して、のんびり生活が出来よう配慮している。家庭的な、小規模ホームの良さを感じる。利用者を心憎いほど細やかに受容し、安心、潤い、心地良さが自然に滲み出ている生活が見られる。 心地良さはすぐ忘れるが、負担や不安はいつまでも心に残る。したがってその点を無くすように、穏やかな気持ちで日々過ごすことのできるよう支援している。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 6人という小規模なホームではあるが、そこを十分に生かし、また大きな旭川荘という組織の中の一つとして運営され、医療、介護両面での意識レベルの高さを感じる。ますます向上を目指し研鑽され、グループホームの中でも指導的役割を持って、他のグループホームへの情報の発信者となることを期待している。		